

第85回 全日本男子ホッケー選手権大会

開催日時 12 月 18 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 < Aコート >

第1試合	名古屋フラーテル	1	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	2	立命館大学
11:00					

【各試合の結果・詳細】

Aコート 第1試合

名古屋フラーテル	1	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	2	立命館大学
A組 1位				B組 1位

< 得点 >

名古屋 : 42分#11川上(啓)
立命館 : 29分#5伊藤 32分#9藤吉

< 戦評 >

全日本選手権の決勝は、10月の日本リーグプレーオフ決勝で対戦したカード。勝者の立命館大学と昨年王者の意地をみせる名古屋フラーテルホッケーチームの対戦となった。名古屋フラーテルホッケーチームのセンターパスにより試合が開始された。11分立命館大学#7堀江がPCを取得するが、得点には至らない。一方、名古屋フラーテルホッケーチームも19分#18福代がPCを取得するが、これもチャンスを生かすことができない。試合が動いたのは、29分PCから立命館大学#5伊藤のシュートにより待望の一点をあげる。勢いづいた立命館大学は、32分パスカットから#30田中のドリブルで攻め込みシュート。そのリバウンドを#9藤吉が押し込み2点目をあげ名古屋フラーテルホッケーチームを突き放し2-0で前半を折り返す。

後半開始早々追いつきたい名古屋フラーテルホッケーチームは果敢に立命館大学陣地に攻め込み、サークルトップのフリーヒットから42分#2三澤のパスを#11川上が合わせ1点を取り返す。さらに57分#5渡邊が立命館大学ゴールにシュートを放つが枠に入らず得点には至らない。一方、点差を広げたい立命館大学は前半の勢いで名古屋フラーテルホッケーチームのゴールを狙うが追加点は奪えない。一進一退の攻防が続いた戦いは、粘り強いDFそして、スピードのある攻撃を見せた立命館大学が2-1で勝利し、3年ぶり3回目の優勝を飾り、2011年全日本選手権大会の幕を閉じた。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	藤村 利道
ジャッジ	大橋 俊彦		近藤 聡史
サジェスチョン	山本 誠		
	藤原 信幸		

A組

1位	名古屋フラーテルホッケーチーム	3勝0敗0分	勝点 9
2位	RIVERSOUL岐阜	2勝1敗0分	勝点 6
3位	慶應義塾大学	1勝2敗0分	勝点 3
4位	山梨学院大学	0勝3敗0分	勝点 0

B組

1位	立命館大学	3勝0敗0分	勝点 9
2位	天理大学	2勝1敗0分	勝点 6
3位	小矢部RED OX	1勝2敗0分	勝点 3
4位	福井クラブ	0勝3敗0分	勝点 0

この結果、立命館大学は、3年ぶり3回目の優勝

最終順位

優勝	立命館大学
2位	名古屋フラーテルホッケーチーム
3位	RIVERSOUL岐阜
3位	天理大学